

Orchestra of Spring コロナウイルス対策ガイドライン ～本番編～

2021年3月11日作成

2022年11月6日更新

Orchestra of Spring では、演奏会開催にあたって、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために下記の対策を行います。

なお、状況は日々変化しておりますので、変更がある際は速やかにご連絡致します。

ご不便をおかけいたしますが、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

【1.団員の感染対策行動の決まり】

①体調管理

・演奏会の3日前～当日まで、検温管理を行う。

12/8～12/11には毎日検温を行い、37.5℃以下であることを共有する。ご本人・ご家族の体調について、発熱・だるさ・息苦しさ等、新型コロナウイルスの症状がないか、確認する。

症状の可能性がある場合、速やかにパートチーフおよび団長まで連絡する。

・本番後3日以内(12/14)は、体調不良がないか留意する。

期間内に発熱等の新型コロナウイルスの症状があった場合は、速やかにパートチーフおよび団長まで連絡する。

②消毒

・ホールへ来場時は、必ずアルコール消毒および検温を行う。

・舞台袖と楽屋にアルコールを設置する。出入りする場合は、必ず手指の消毒を行う。

・楽器パートごとにアルコールを配布し、転換時などにこまめな消毒を行う。

③飛沫対策

・マスクは不織布のもののみとする(事情がある人を除く)。

本番中着用する人は白色/黒色/グレー・無地のみとする。

・当日は常にマスクを着用する。ただし、食事・水分補給時、本番中、管楽器演奏中は除く。

・本番中は、会話しないことを前提に、マスク着用は不要とする。ただし、舞台袖まででは必ず着用し、入場前に外す。不安を感じる人は本番中も着用して良い。

・人と人との距離を取り、密にならないよう心がけて行動する。

【2.各場所での対策】

① 楽屋

・楽屋の定員はホール規定の人数までとし、密にならないよう楽屋の割り振りに沿って行動する。基本的に割り振られた楽屋以外は立ち入り不可とする。

・着替えについて、密を避けるため、できるだけ衣装着用での集合にご協力ください。また、降り番がある団員は、昼休みを避け、時間を分散しての着替え・食事にご協力ください。

・食事時の会話は、マスクを着用するか距離を十分取るように心がける。

食事は、指定の楽屋または屋外のみで取る。

・管楽器は飛沫対策のため、舞台・指定された部屋以外での音出しを禁止する。

・できるだけ扉は開放し、閉める場合は1時間毎を目安に換気を行う。

②舞台上

・全て通常配置とします。

・弦楽器は1フルト(2人)で1本の譜面台とする。

・管楽器は唾取シートを置き、飛沫拡散防止に努める。

・本番中の舞台上のみ、マスク着用は任意とします。

② 客席

- ・座席は指定席です。接触予防の観点から、団員は降り番時も1階客席に行くことは禁止とします。

【3.お客様対応】

① スタッフの対策

- ・お客様対応を行うスタッフおよび団員は、常に不織布マスクを着用する。
検温担当等のお客様と近い距離となるスタッフは手袋を着用するよう努める。

② お客様へのお願い

- ・ご来場時、受付にて検温・アルコール消毒を行う。37.5度以上である場合は入場をお断りさせていただく。
- ・常にマスクを着用いただき、大きな声での会話は出来るだけお控えいただく。
- ・飲食は厳禁とする。(ロビーでの水分補給を除く)
- ・会場ではお客様同士での間隔確保にご協力いただく。
- ・全席指定席のため、チケットの座席通りにご着席いただく。
- ・出演者との面会、プレゼント差し入れ、楽屋出待ち等はお控えください。
- ・当日発熱や風邪の症状等があるお客様は、ご来場を控えていただく。
体調不良によりキャンセルとなる方へは、当日までの申告によりチケット代を返金する。
- ・演奏会後3日以内(12/14)に新型コロナウイルス感染症をご本人または同居する家族が発症した場合は、当団連絡先まで速やかにご連絡いただく。

③その他

- ・パンフレットは手渡しせず、設置とする。
- ・ご来場のお客様より感染が確認された場合等、必要に応じて、お名前・緊急連絡先を保健所等の公的期間へ提供する可能性がある。
- ・感染や連絡先提供等がある場合は、チケットサイト『teket』登録の連絡先へ情報を配信する。

以上、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

参考: [クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン\(一般社団法人日本クラシック音楽事業協会\)](#)

Orchestra of Spring

団長 市川萌都

緊急連絡先:090-2916-9259 moto.vc1221@gmail.com

Orchestra of Spring コロナウイルス対策ガイドライン ～練習編～

2020年9月5日作成

2022年11月6日更新

Orchestra of Spring では、練習を実施するにあたって、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために下記の対策を行います。なお、状況は日々変化しておりますので、変更がある際は速やかにご連絡致します。

ご不便をおかけいたしますが、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

【練習実施の判断にあたって】

- ①練習実施の判断は、基本的に練習施設における判断に従うこととし、使用可能な場合は基本的に実施する。
ただし、政府や東京都による強制力のある活動制限がある場合、団員の出欠状況により有意義な練習ができないと判断する場合のほか、周辺の感染者やクラスターの状況等によっては練習を中止する可能性がある。
- ②練習実施の判断は執行部にて行う。必要な場合は技術チームと検討する。

【対面練習での対策】

- ①練習会場では、できる限り、人と人の距離を取って行動する。
- ②練習会場は、できる限り広さに余裕を持った会場を選ぶ。
- ③練習日の3日前～当日において、本人・家族に発熱・だるさ・息苦しさ等の症状がある場合は練習参加を控える。また、練習に参加することに対して不安を感じる場合も、無理をせず参加を控える。
- ④練習日当日は接触型体温計により検温を行い、37.5℃以下であることを確認し、練習カレンダーにて報告する。
加えて、会場入口にて参加者全員にアルコール消毒・検温を行う。
体温が37.5℃を超える場合は練習参加を控える。
- ⑤席の間隔は、密とならないようできるだけ距離を確保する。可能であれば0.5m程度確保する。
- ⑥管楽器奏者は演奏中つば取り用の吸水シートを用いて、衛生面に配慮する。
- ⑦練習参加の際は、マスクを着用する。ただし、管楽器の演奏中は除く。
発言・会話する際は必ずマスクを着用する。
- ⑧席交代がある場合、各々でアルコール消毒や距離に配慮する。
- ⑨休憩時間に会場を出入する際はその都度アルコール消毒を行う。
その他、各自こまめな手洗い・うがい等行うよう心がける。
- ⑩1時間に1度を目安に会場の換気を行う。
- ⑪練習前後の食事会等は、政府・自治体からの要請や推奨される範囲内のみとする。
会場への行き帰りは分散して移動する。特に電車・バスを利用する際は、同車両に密集して乗車しないように注意する。

【連絡体制】

練習日の3日前～当日において体調不良・高熱の場合、

および 練習日に関わらず感染症検査にて陽性の場合・濃厚接触者となった場合

→本人がパートチーフへ状況連絡（練習直前等で急を要する場合は団長市川へも連絡）

→パートチーフが、コロナウイルス症状・検査陽性・濃厚接触者がある場合は状況を団長市川へにて報告

→執行部にて練習実施可否を判断

以上、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

参考: [クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン\(一般社団法人日本クラシック音楽事業協会\)](#)

Orchestra of Spring

団長 市川萌都

緊急連絡先:090-2916-9259 moto.vc1221@gmail.com